

岡山県感染症週報 2014 年 第 36 週 (9 月 1 日～9 月 7 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症 警報』発令中です。

◆2014 年 第 36 週 (9/1～9/7) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 34 週	2 類感染症	結核	1 名 (50 代 女)
	5 類感染症	ウイルス性肝炎	1 名 (50 代 女)
第 35 週	2 類感染症	結核	4 名 (40 代 女 1 名、80 代 男 1 名・女 1 名、90 代 女 1 名)
	5 類感染症	梅毒	1 名 (20 代 男)
第 36 週	2 類感染症	結核	9 名 (20 代 男 1 名・女 1 名、40 代 女 1 名、50 代 女 1 名、60 代 男 2 名、70 代 男 1 名、80 代 男 2 名)
	3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2 名 (O157: 児童 男 1 名、30 代 女 1 名)
	4 類感染症	デング熱	1 名 (20 代 男)
		日本紅斑熱	1 名 (60 代 女)
		レジオネラ症	2 名 (40 代 男 1 名、60 代 男 1 名)

■定点把握感染症発生状況

- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 45 名 (定点あたり 0.85 → 0.83 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。
- ヘルパンギーナは、県全体で 45 名 (定点あたり 1.19 → 0.83 人) の報告があり、前週より減少しました。
- RS ウイルス感染症は、県内の発生は少数ですが、全国では増加傾向です。

1. [デング熱](#)は、1 名の報告がありました。国内感染事例ではありますが、岡山県内で感染したものではありません。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[デング熱について](#)』をご覧ください。
2. [腸管出血性大腸菌感染症](#)は、第 36 週に 2 名の報告があり、2014 年累計報告数は 60 名となりました。岡山県では、「[腸管出血性大腸菌感染症 警報](#)」を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症 警報 発令中!](#)』をご覧ください。
3. [日本紅斑熱](#)は、第 36 週に 1 名の報告があり、2014 年累計報告数は 3 名となりました。この感染症は、病原体 (日本紅斑熱リケッチア) を保有するマダニに咬まれることで感染し、春から初冬にかけて発生報告されています。ダニが媒介する感染症は、日本紅斑熱の他に、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)、つつが虫病などがあります。作業やレジャーなどで野山や草むらに入るときは、肌の露出を少なくするなど、ダニに咬まれないように注意しましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[「日本紅斑熱」に注意しよう。](#)』及び『[ダニが媒介する感染症に注意しよう。](#)』をご覧ください。
4. [A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)は、県全体で 45 名 (定点あたり 0.85 → 0.83 人) の報告があり、前週とほぼ同数でしたが、過去 10 年間の同時期と比較して最も多い状態で推移しています。地域別では、前週と異なり、真庭地域 (3.00 人)、美作地域 (1.17 人) で報告数が多くなっています。ひきつづき手洗いやうがいを行うなど、一般的な感染予防に努めましょう。
5. [ヘルパンギーナ](#)は、県全体で 64 名 (定点あたり 1.19 → 0.83 人) の報告があり、前週より減少しました。この感染症は、小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表的なもので、例年初夏から初秋にかけて発生します。ひきつづき手洗いやうがいを行うなど、感染予防に努めましょう。
6. [RS ウイルス感染症](#)は、県全体で 5 名 (定点あたり 0.07 → 0.09 人) と少数ですが、全国では増加傾向にあります。発生状況など詳しくは「今週の注目感染症」をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↗	★
咽頭結膜熱	↗	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	★
感染性胃腸炎	↗	★★★★	水痘	↗	★
手足口病	↗	★	伝染性紅斑	↓	
突発性発疹	↗	★★	百日咳	↓	
ヘルパンギーナ	↗	★	流行性耳下腺炎	↓	★
急性出血性結膜炎	↗		流行性角結膜炎	↑	★★
細菌性髄膜炎	↗		無菌性髄膜炎	↗	
マイコプラズマ肺炎	↗		クラミジア肺炎	↗	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗				

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ : 2倍以上の減少 ↘ : 1.1~2倍未満の減少 ↗ : 1.1未満の増減
 ↗ : 1.1~2倍未満の増加 ↑ : 2倍以上の増加

発生状況: 空白: 発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い
 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成25年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

今週の注目感染症

RSウイルス感染症

【RSウイルス感染症とは】

RSウイルス感染症は、RSウイルスによる急性呼吸器感染症です。この感染症は、例年冬期にピークがみられ、夏期は報告数が少ない状態でしたが、2011年以降、7月頃から患者の増加が認められるようになりました。感染後2~8日の潜伏期間ののち、発熱、鼻汁、咳などの風邪症状が現れます。約70%の乳児が、生後最初の1年間でRSウイルスに感染し、その約3割が肺炎や細気管支炎を引き起こします。母体からの移行抗体では感染を防ぐことができず、生後6ヶ月以下の乳児においては重症化し、入院を必要とすることもあります。重篤な合併症として、無呼吸発作、急性脳炎等があり、1歳以下の乳児では、中耳炎の合併も多く報告されています。年齢を問わず、生涯にわたり感染・発症を繰り返しますが、通常は年齢が上がるにつれて、重症化しにくくなります。

【感染経路】

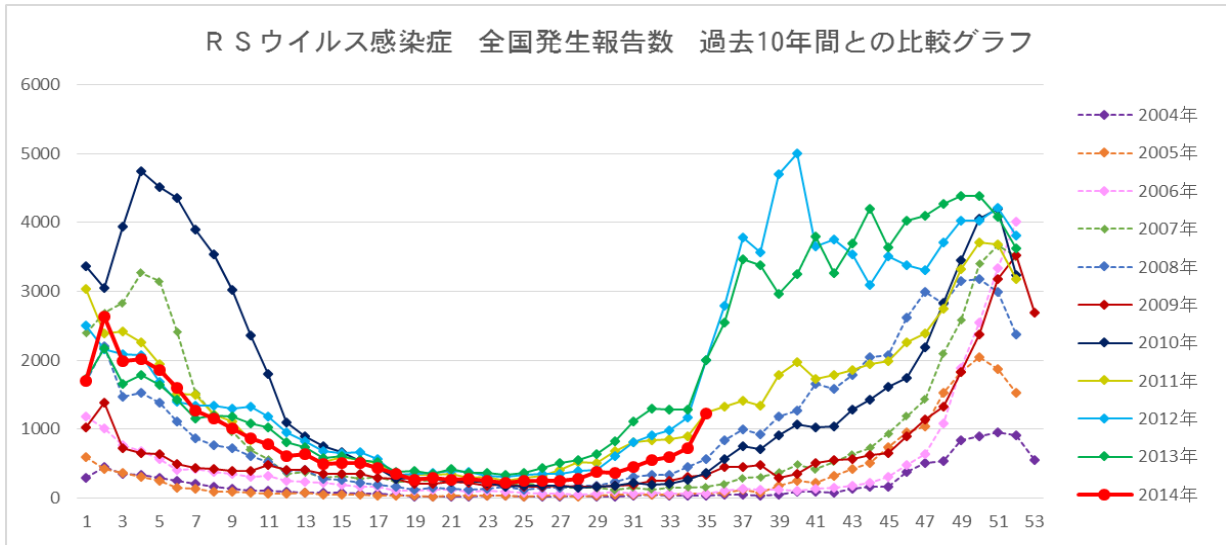
感染している人が、咳やくしゃみをした際に飛び散るしぶきを浴びて、ウイルスを吸い込む飛沫感染や、ウイルスがついている手指や物品を触ったり舐めたりすることなどによる、間接的な接触感染で感染します。

【治療】

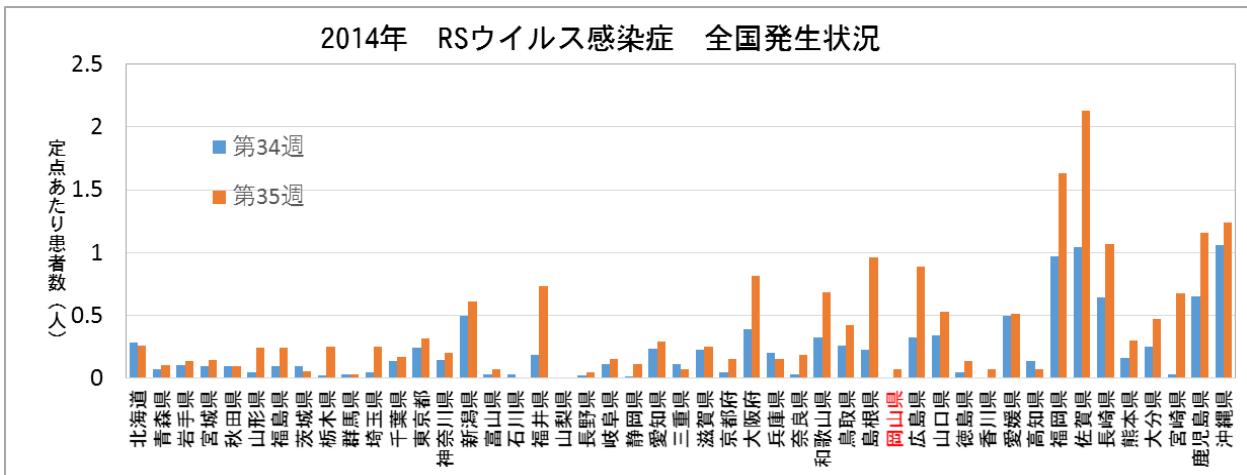
特効薬はないため、症状に応じた対症療法を行います。

【発生状況】

2014年、全国の患者報告数は昨年に比べて低い状態で推移していましたが、第31週（7/28～8/3）から徐々に増加し、第35週（8/25～8/31）は急激に増加しました。



第35週全国集計によると、西日本を中心に報告数が増加しています。近県では、島根県（0.96人）、広島県（0.89人）などで急激な増加がみられます。岡山県では、患者は少数（定点あたり0.09人）にとどまっていますが、今年も早い時期からの患者増加が懸念されるため、県内の発生状況に注意してください。



[RSウイルス感染症とは（国立感染症研究所）](#)

[RSウイルス感染症に関するQ&A（厚生労働省）](#)

保健所別報告患者数 2014年 36週 (2014/09/01～2014/09/07)

2014年9月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	-	-	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	5	0.09	2	0.14	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
咽頭結膜熱	16	0.30	2	0.14	-	-	1	0.10	4	0.57	-	-	-	-	9	1.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	0.83	8	0.57	16	1.45	4	0.40	2	0.29	2	0.50	6	3.00	7	1.17
感染性胃腸炎	300	5.56	89	6.36	57	5.18	59	5.90	21	3.00	16	4.00	13	6.50	45	7.50
水痘	28	0.52	9	0.64	2	0.18	3	0.30	10	1.43	-	-	-	-	4	0.67
手足口病	25	0.46	6	0.43	15	1.36	2	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.33
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	28	0.52	10	0.71	9	0.82	4	0.40	1	0.14	-	-	-	-	4	0.67
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	45	0.83	14	1.00	11	1.00	5	0.50	11	1.57	3	0.75	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	6	0.11	2	0.14	-	-	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	15	1.25	7	1.40	6	1.50	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 36週 (2014/09/01～2014/09/07)

2014年9月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2	0.02	-	-	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	16	0.30	2	0.14	-	-	1	0.10	4	0.57	-	-	-	-	9	1.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	0.83	8	0.57	16	1.45	4	0.40	2	0.29	2	0.50	6	3.00	7	1.17
感染性胃腸炎	300	5.56	89	6.36	57	5.18	59	5.90	21	3.00	16	4.00	13	6.50	45	7.50
水痘	28	0.52	9	0.64	2	0.18	3	0.30	10	1.43	-	-	-	-	4	0.67
手足口病	25	0.46	6	0.43	15	1.36	2	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.33
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	45	0.83	14	1.00	11	1.00	5	0.50	11	1.57	3	0.75	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	6	0.11	2	0.14	-	-	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	15	1.25	7	1.40	6	1.50	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第36週 2014/09/01～2014/09/07)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-

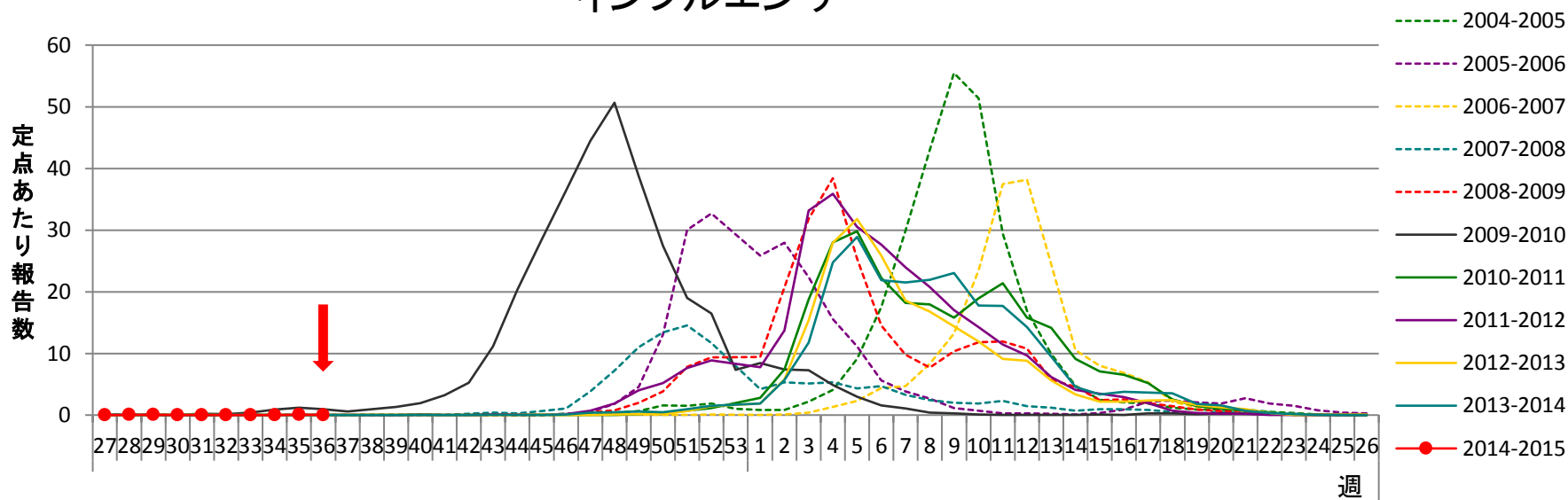
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	5	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	16	-	1	3	2	2	3	2	2	-	1	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	-	-	2	5	-	4	3	6	5	3	-	10	3	4
感染性胃腸炎	300	6	36	44	32	24	22	15	17	10	13	12	29	6	34
水痘	28	-	2	4	1	5	2	1	3	4	4	-	2	-	-
手足口病	25	2	4	4	6	1	5	3	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	28	-	12	13	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	45	-	4	9	9	5	4	4	5	-	2	1	2	-	-
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	1	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	15	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	1	2	3	1	1	3	-

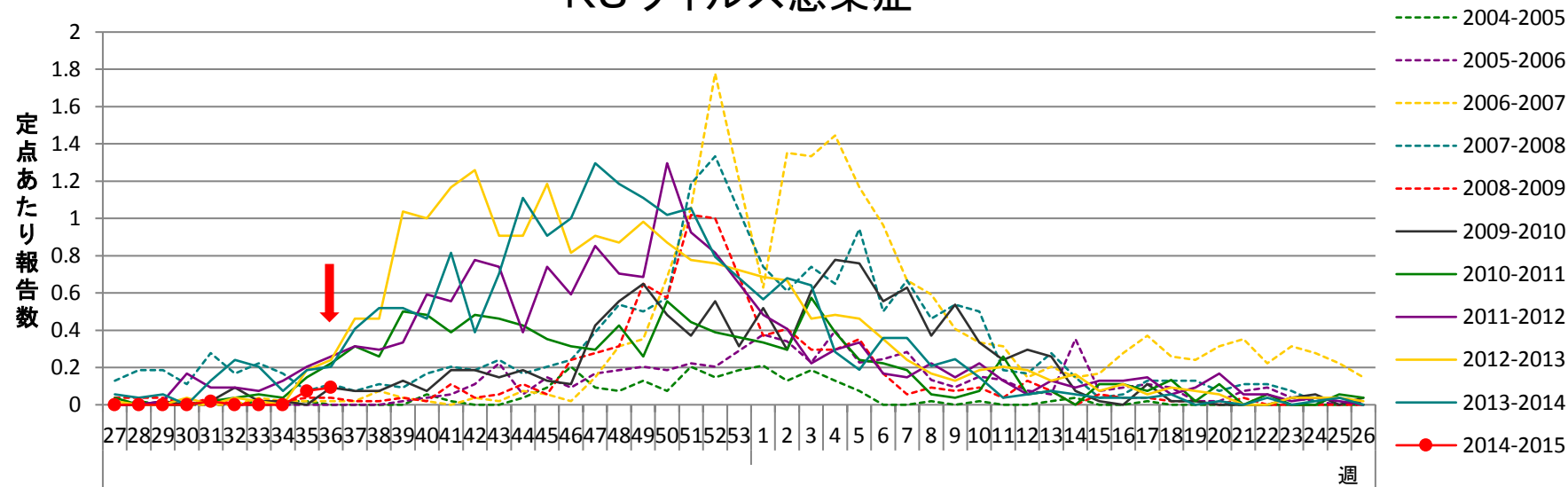
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

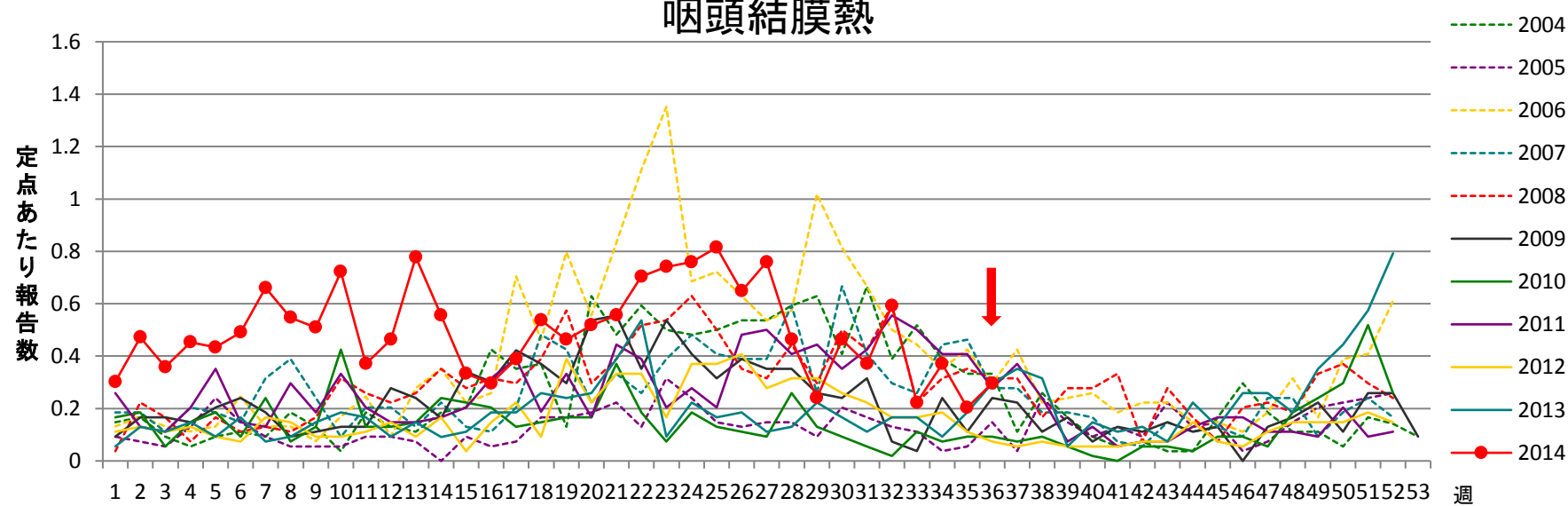
インフルエンザ



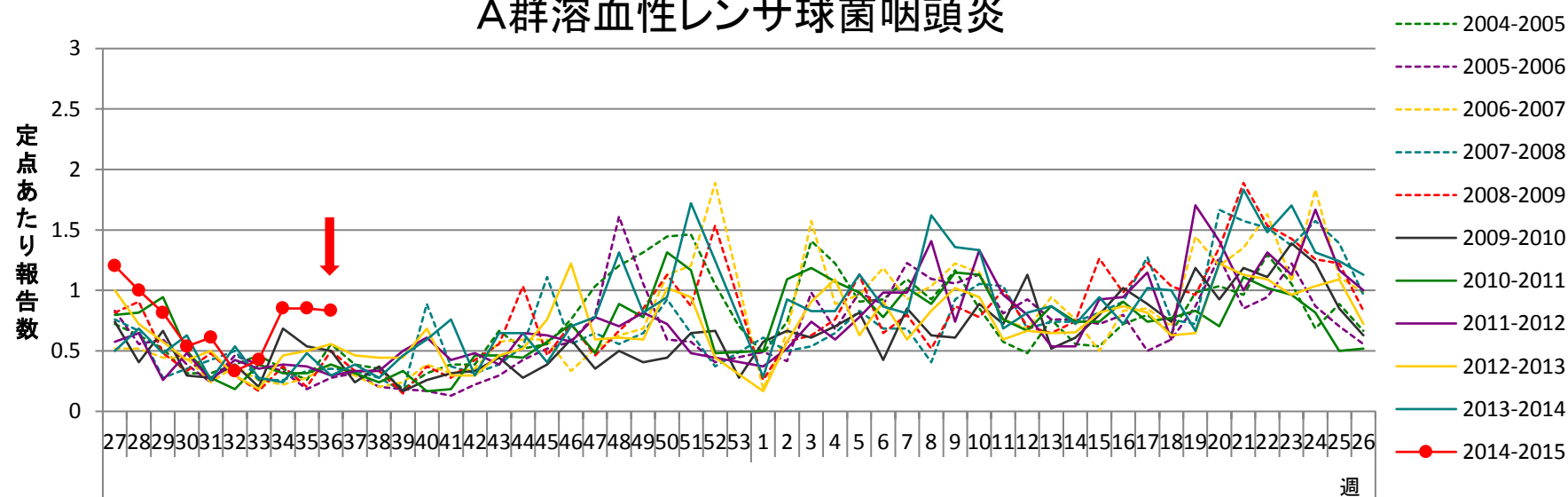
RSウイルス感染症



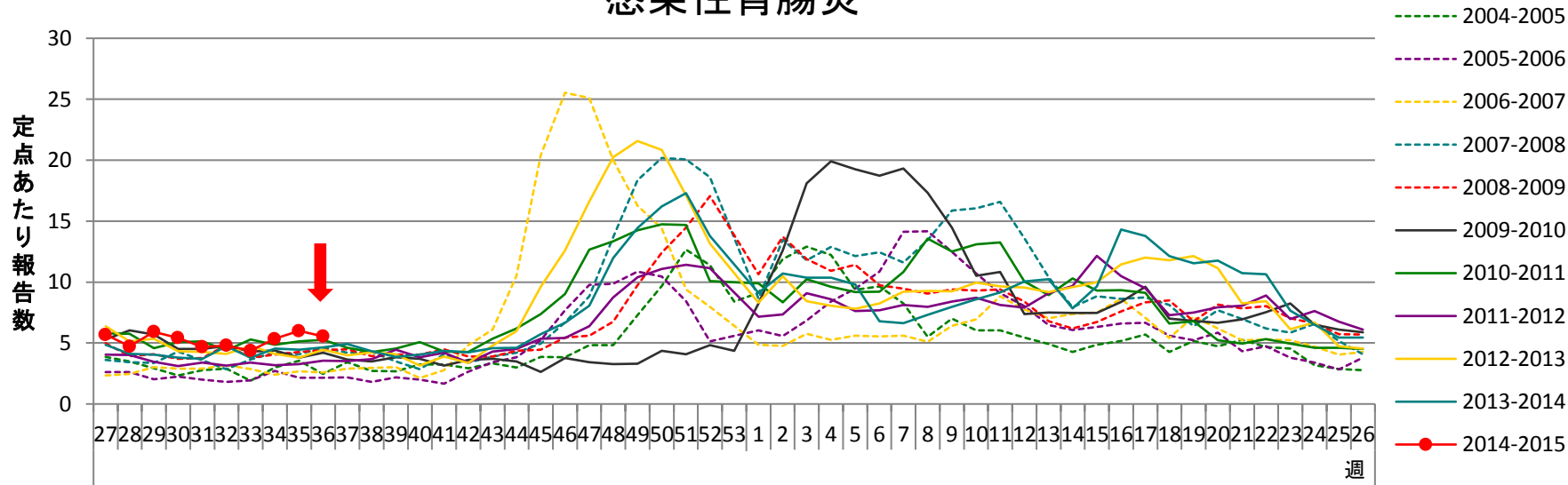
咽頭結膜熱



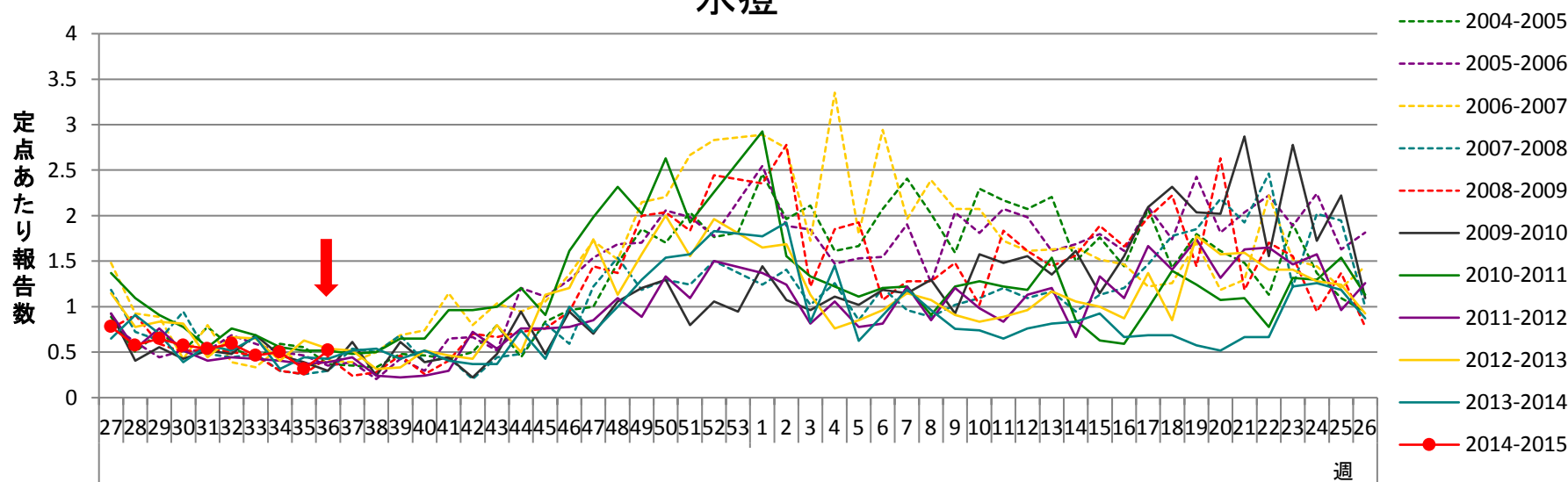
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



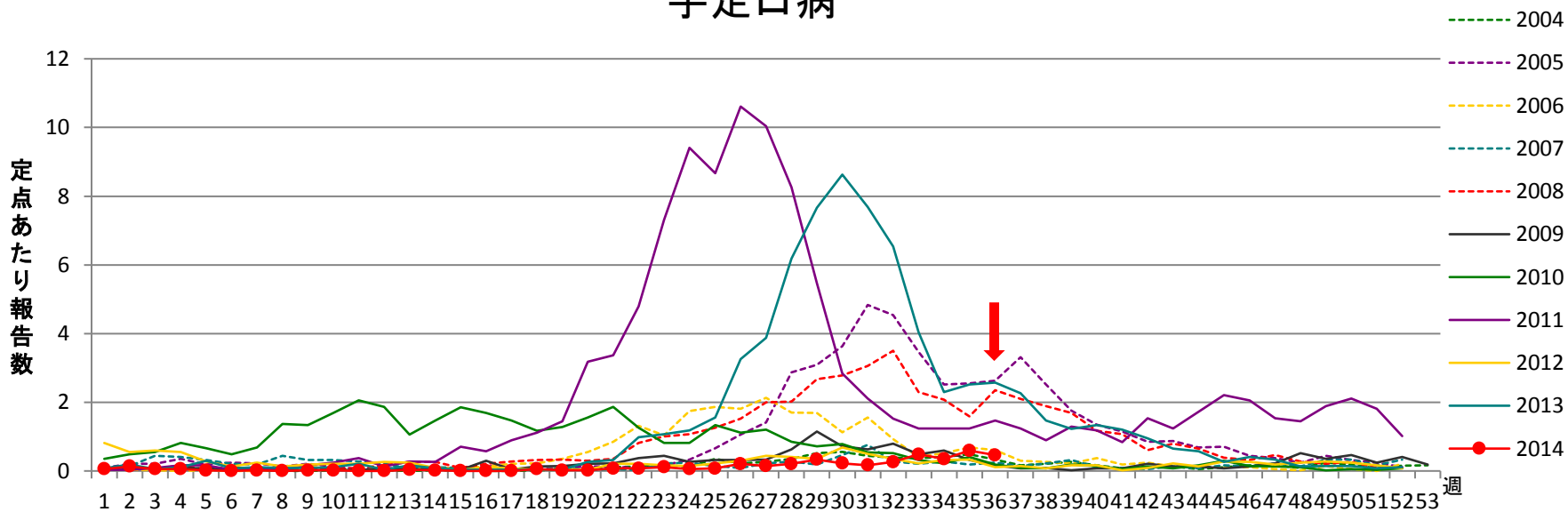
感染性胃腸炎



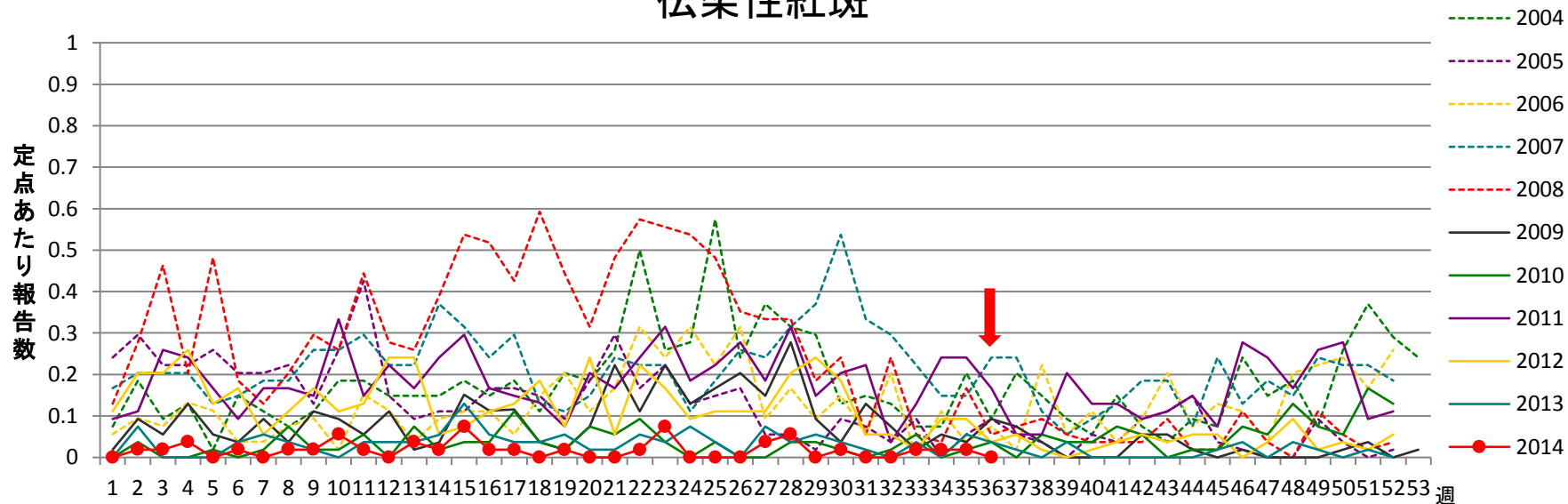
水痘



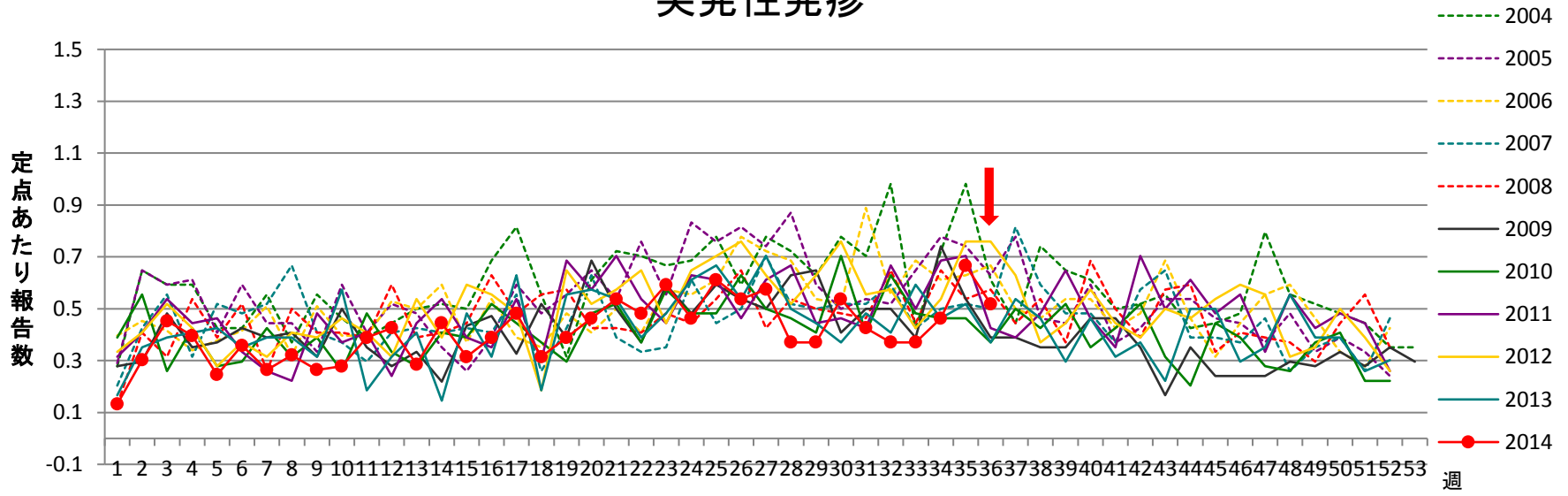
手足口病



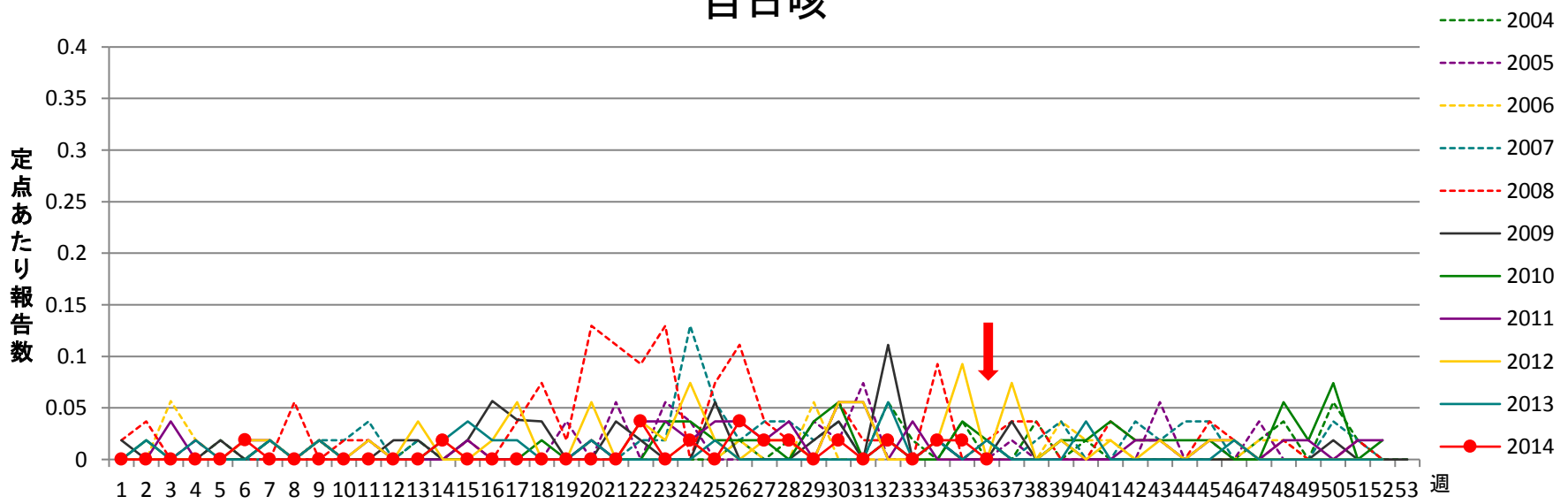
伝染性紅斑



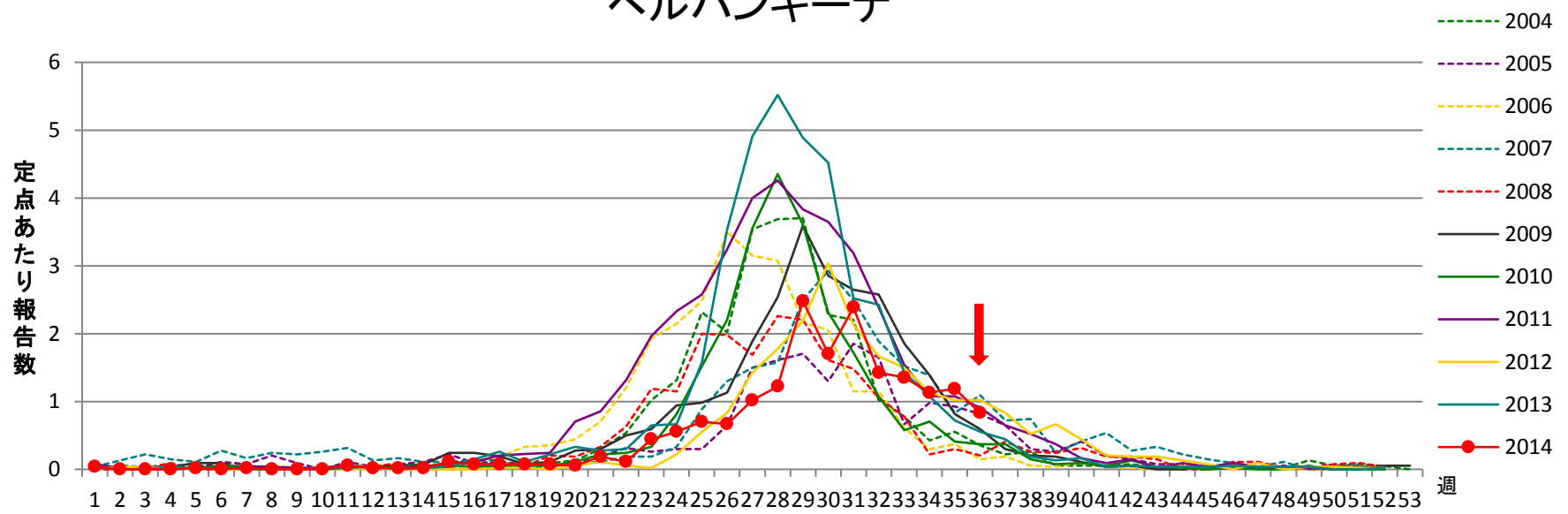
突発性発疹



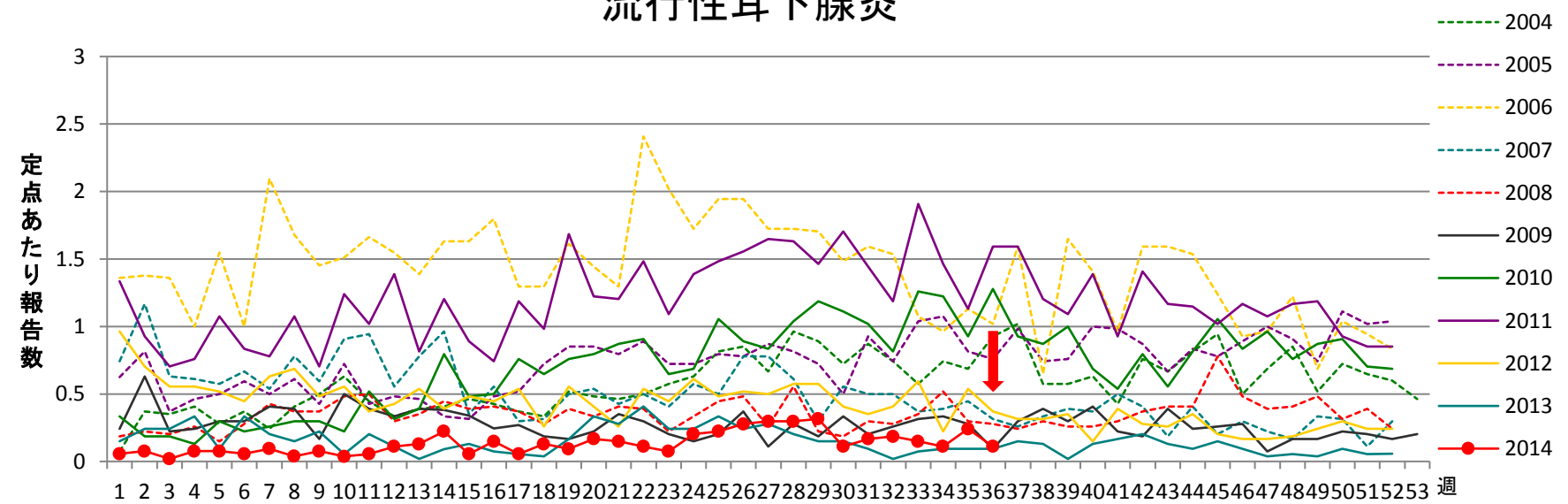
百日咳



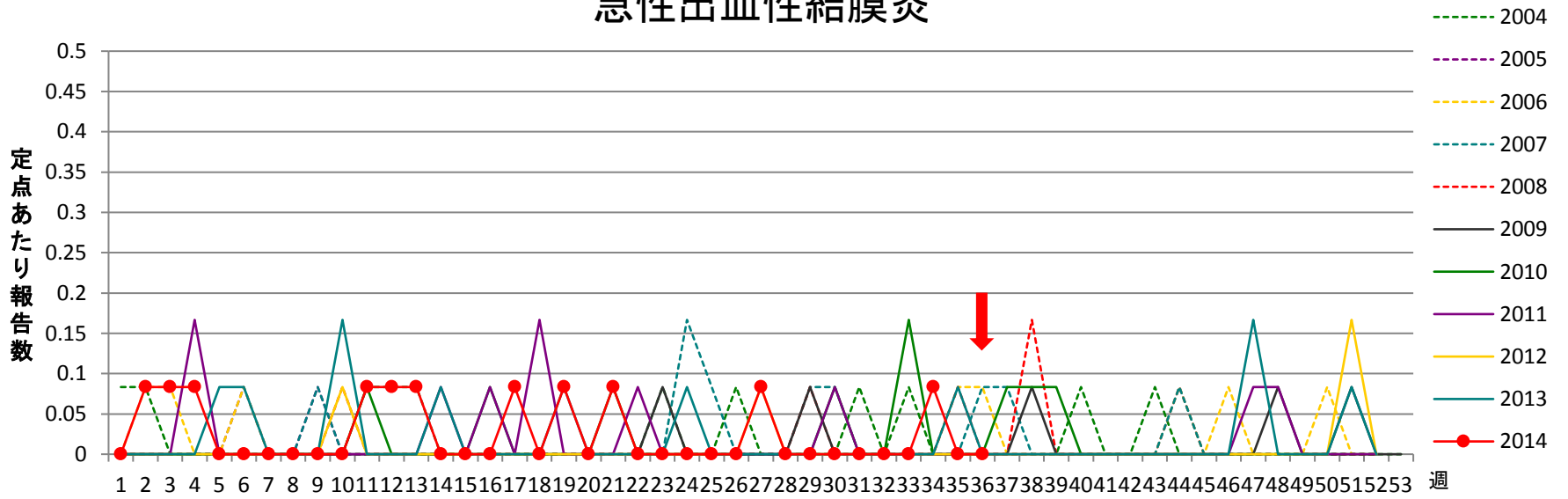
ヘルパンギーナ



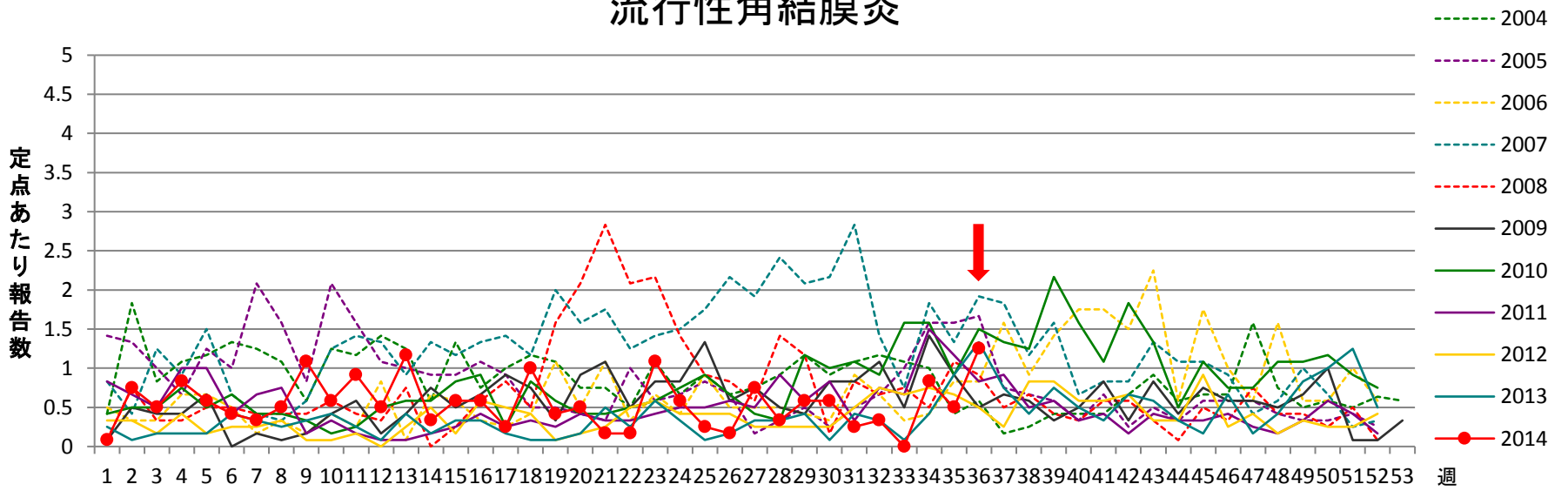
流行性耳下腺炎



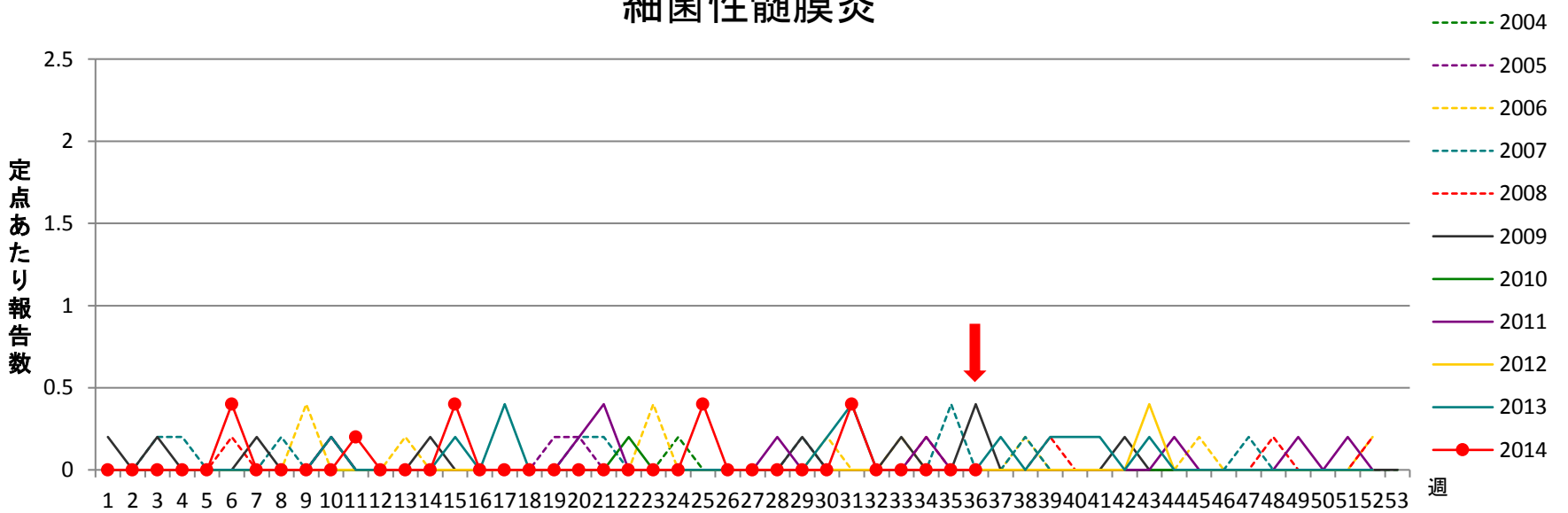
急性出血性結膜炎



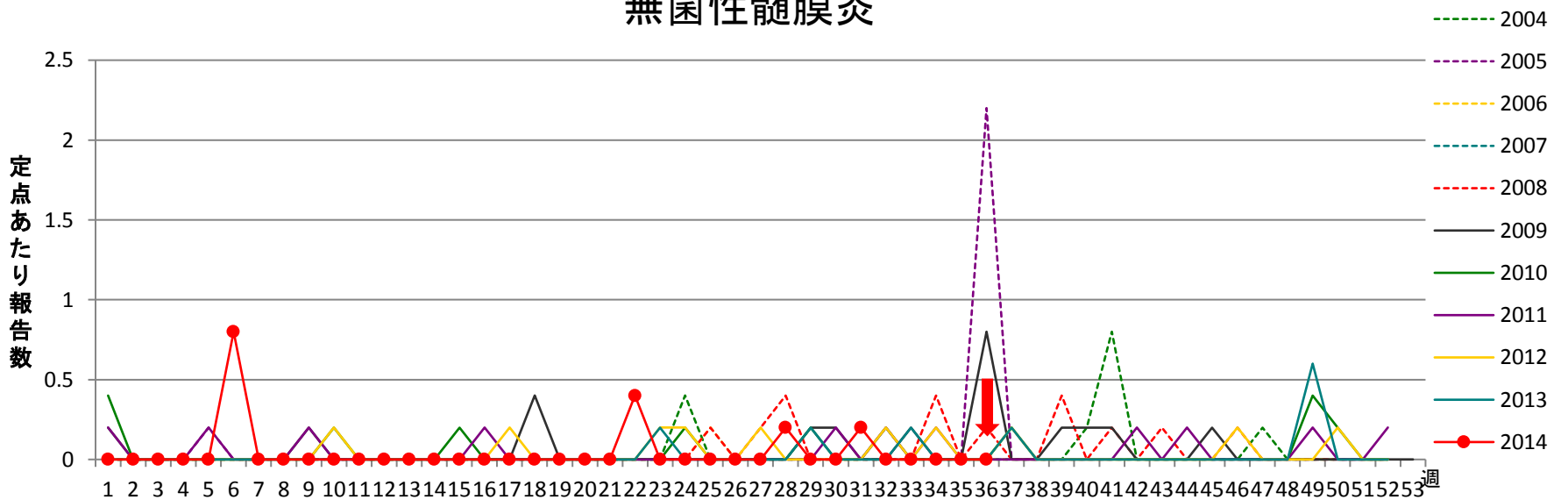
流行性角結膜炎



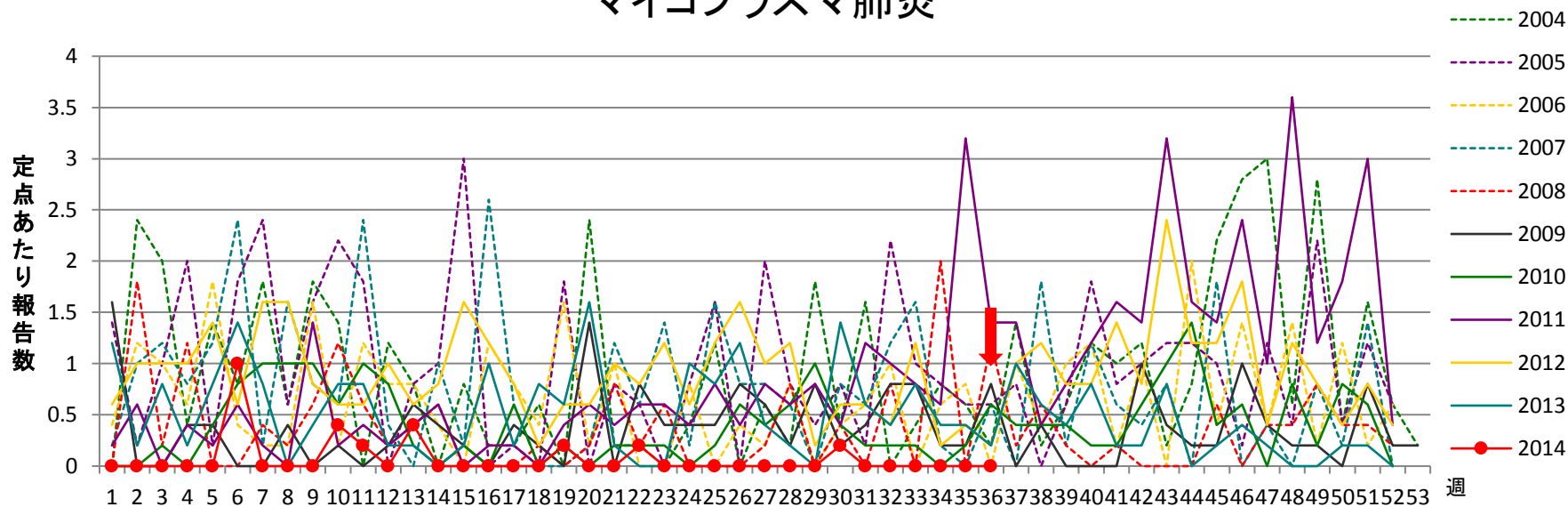
細菌性髄膜炎



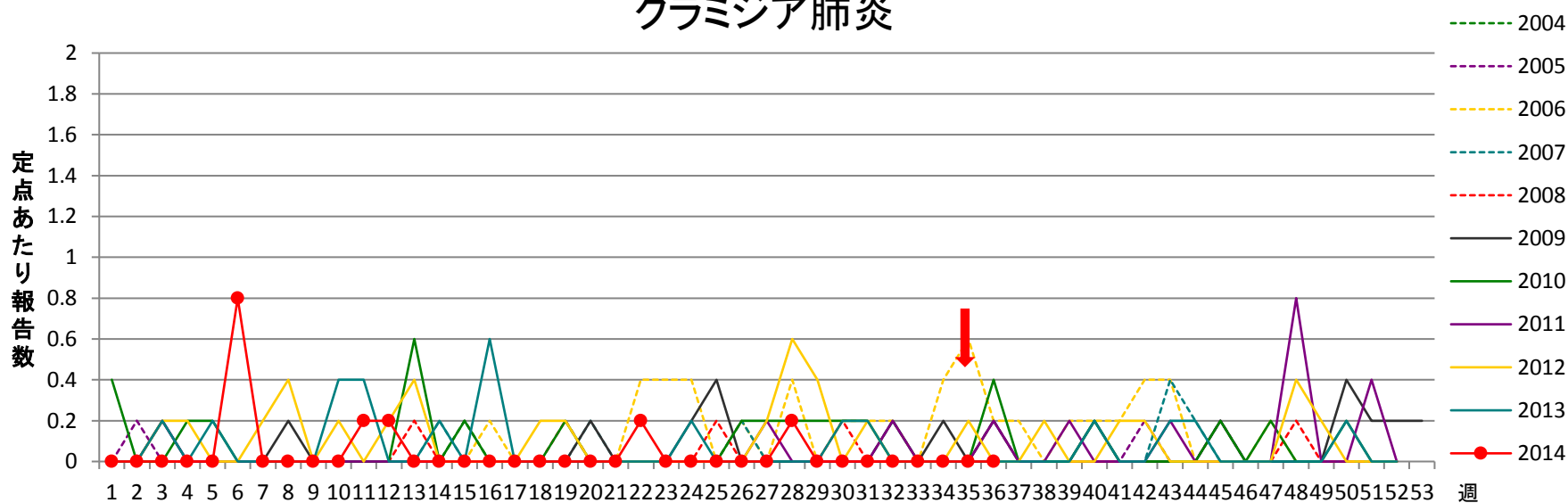
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

